

山行報告書

日時	2017年 7月25日(火)～29日(土)		天候	雨のち曇り・晴れ
山名	前穂高岳・奥穂高岳・西穂高岳			
CL	T野	参加者	T坂(総勢2名)	
(コース)	<p>25日(火):福岡発12:50発⇒ひるがの高原SA0:00着(車中泊)</p> <p>26日(水):ひるがの高原SA5:35発⇒あかんだな駐車場6:50着・7:20発⇒上高地8:00着・8:15発⇒明神8:55着・9:10発⇒徳沢9:57⇒横尾10:47着・11:00発⇒本谷12:10着・12:20発⇒溜沢ヒュッテ13:55着(泊) 天候:曇り時々雨のち晴れ</p> <p>27日(木):溜沢ヒュッテ5:18発⇒前穂高岳北尾根5・6のCOL6:41着⇒5峰19:31着⇒4峰8:57着⇒3峰12:00着⇒2峰着12:30着⇒前穂高岳13:00着⇒紀美子平13:52着・14:00発⇒奥穂高岳15:50着⇒穂高岳山荘16:33着(泊) 天候:雨時々曇りのち晴れ</p> <p>28日(金):穂高岳山荘6:10発⇒溜沢ヒュッテ7:40着⇒本谷8:50着⇒横尾9:43着・9:53発⇒徳沢10:45着・11:02発⇒上高地12:55着⇒あかんだな駐車場着13:40着⇒多賀SA着19:00(泊) 天候:雨のち曇り</p> <p>29日(土):多賀SA8:00発⇒淡河SA10:20着⇒龍野西SA11:00着⇒福山SA12:25着・12:57発⇒下松14:30着・14:48発⇒福岡17:30着</p>			
(コメント)	<p>25日、猛暑の福岡をこれからの山行に期待を膨らませてワゴン車で出発したが、京都を過ぎたあたりから雨がぼつぼつ落ちてきた。今夜の宿泊場所ひるがの高原SAに着く頃は大雨に変わっていたが、翌日には雨があがることを期待して就寝した。</p> <p>26日、朝から雨、強くは振っていないが、山行初日としては最悪の状態での出発であったが、とりあえず溜沢までは行くこととしていた。上高地から明神・徳沢・横尾・本谷と行程を重ねる毎に天候が回復し溜沢に着く頃は晴れ間も見える天候に回復した。本谷から溜沢への行程は上り一辺倒であるので、きつい所ではあるが、雪渓で冷やされた風が吹いてくると、熱気を帯びた体にはその冷気が気持ちよく感じられた。また、雪渓が溶けて流れる沢水を飲んだが、その冷たさと喉越しのおいしさに、今までの疲れが吹き飛んで元気を取り戻すことができた。溜沢ヒュッテに着き、一旦ザックを溜沢ヒュッテに置いて、明日の行程である前穂高岳北尾根の5・6のCOLのルート確認のため、下見に出かけた。出発前に雪渓ではアイゼンが必要ではないかと不安を持っていたが、実際取付き点まで雪渓を登ってみると、登山靴で十分の登れるとの感触を得たので安心した。下見終了後、前から決めていた溜沢ヒュッテ名物生ビールプラスおでんで無事の到着と明日からの山行の安全を誓ってT坂さんと乾杯した。明日の天候は晴れとの溜沢の登山情報センターの見解で、安心して明日の山行を期待しながら床に就いた。</p> <p>27日、3時頃ヒュッテの屋根を雨が叩く音が目ざめた。出発を5時としていたので、様子を見て判断しようと思っていたが、雨あしも弱くなったことから、T坂さんと相談し、決行することとし出発した。結局前穂高岳山頂まで、降ったりやんだりの天候であった。5・6のCOLまでの登りは急登が続いたがCOLには高山植物が咲いていてきつさが癒される景色であった。しかしながら、5峰から先の峰々や溜沢及び奥又白方面はガスでなにも見えない状況であった。5峰については、稜線上の踏み跡もしっかりしているので、順調に標高を稼いで5峰の頂上に立つことができた。5峰頂上からガスのため4峰の全容が見えず4.5のCOL思われる所に着いた地点では、事前収集していた情報とあまりにも違うので、4峰とは判断できなかったが地図などにより確認した。4峰については、ルートファインディングの重要さと、岩の脆さが事前情報としてあったが、最初の取付きから溜沢側を捲いて稜線に戻り、大岩下を奥又白側にトラバースし、少し進んでルンゼを頂上に向けて登り、溜沢側をまいて頂上に至った。</p> <p>3・4のCOLに向けての下りは、ガレているので慎重に足を運んで進んだ。この間も雨が降ったりやんだりしていた。3峰に取り付く頃、また雨が降り出し、雨の中でのクライミングとなった。当初クラッターシューズで登る予定であったが、雨のため登山靴でのクライミングに切り替、登攀開始した。雨の中での登山靴でのクライミングは、想像以上に厳しく、神経をすり減らすクライミングとなった。コースは一般的なルートであったが、ザイルが雨に濡れて重量をまし、ルートが屈折していることから、ザイルの流れが悪く苦労した。特にセカンドを上げる際には、かなりの力が必要となり、最後の方では休み休みしないと腕が持たない状況であった。やっとのことで3峰の頂上に至ったが、晴れていれば、難しいクライミングだったと思われる。</p> <p>3峰から2峰へは踏み跡を行き、2峰から1・2のCOLへの懸垂支点へ到着した。3峰クライミング途中から天候が回復し、2峰の懸垂下降は、安心してできたが、懸垂下降している最中ではザイルから水が滴り落ちていたのは驚いた。本峰へは踏み跡を登り、問題なく山頂へ着き、お互いの無事を確認しあった。頂上で休憩後、紀美子平、吊尾根、奥穂高岳を経て穂高岳山荘に到着した。山荘に到着するまで、クライミング装備を装着したままだったので、山荘にいた登山者から好奇の目で見られてしまった。北尾根での縦走で気力を使ってしまったので、装備を前穂高岳山頂でザックに戻す気になれず装着したままで行こうと決めていた。</p> <p>28日、朝から雨、今日のコースは奥穂高岳～ジャンダルム～西穂高岳～新穂高温泉ロープウェイ駅～平湯であったが、前日の雨の中でのバリエーションにより気力、体力を消耗していたので、溜沢から横尾への下山コースに変更した。平湯へ到着後、ひらゆの森で入浴し今夜の泊場所である多賀SAIに向けて出発した。29日、多賀SAを8時に出発、福岡に着いたのは、17時30分頃、無事に到着解散した。</p> <p>今回の山行を振り返って、雨に祟られた山行ではあったが、前穂高北尾根のバリエーションルートを完登出来たことは、十分満足の出来る山行であったと思う。北尾根では周りの景色を見れなかったもので、再度天候が良い時に挑戦することをT坂さんと確認しあった。</p>			
費用概算	(交通費/人)	約30,000円		
	(その他/人)	宿泊費 20,000円		